

DERWENT-ACC-NO: 2006-034888

DERWENT-WEEK: 200604

TITLE: One sheet cut clothes e.g. double sided or  
reversible kimono, has front and back surfaces having  
textiles dyed with identical or different patterns or colors  
that are compatible with each other

INVENTOR: ISHIKAWA, E; MATSUMOTO, S

PATENT-ASSIGNEE: TORAY IND INC[TORA]

PRIORITY-DATA: 2004JP-0182395 (June 21, 2004)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 2006002311 A	January 5, 2006	N/A
010 A41D 001/00		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2006002311A	N/A	2004JP-0182395
June 21, 2004		

INT-CL (IPC): A41D001/00, A41D001/02

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2006002311A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - Front and back surfaces (1,2) of the clothes have textiles dyed with identical or different patterns or colors that are compatible with each other.  
The edge of the opening of the clothes is double folded in forward direction and folded once to the backward direction, and is sewn up with one seam. The textile may be treated with water repellent or anti electrostatic processing.

USE - E.g. double sided or reversible kimono.

ADVANTAGE - Provides wearing comfort regardless of orientation of

Front and back surfaces 1,2

Sleeve hole 3

Hem 4

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/6

TITLE-TERMS: ONE SHEET CUT CLOTHING DOUBLE SIDE REVERSE KIMONO FRONT  
BACK

SURFACE TEXTILE DYE IDENTICAL PATTERN COLOUR COMPATIBLE

DERWENT-CLASS: P21

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2006-029926

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-2311

(P2006-2311A)

(43) 公開日 平成18年1月5日(2006.1.5)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
A 4 1 D 1/02 (2006.01)	A 4 1 D 1/02 Z	3 B 0 3 0
A 4 1 D 1/00 (2006.01)	A 4 1 D 1/00 1 0 1 Z	3 B 0 3 1

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2004-182395 (P2004-182395)  
 (22) 出願日 平成16年6月21日 (2004.6.21)

(71) 出願人 000003159  
 東レ株式会社  
 東京都中央区日本橋室町2丁目1番1号  
 (72) 発明者 石川 恵美子  
 滋賀県大津市大江1丁目1番1号 東レ株式会社瀬田工場内  
 (72) 発明者 松本 真吾  
 大阪府大阪市北区中之島3丁目3番3号  
 東レ株式会社大阪事業場内  
 Fターム(参考) 3B030 BB06  
 3B031 AB10

(54) 【発明の名称】 衣服

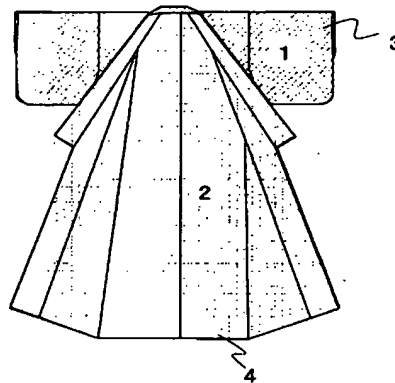
(57) 【要約】

【課題】 表裏いずれの面を着用しても違和感のない完全リバーシブルの1枚仕立ての衣服を提供する。

【解決手段】 表裏異色、または異なる柄に染められた布帛、あるいは表裏異なる組織をもつ布帛を、表裏の全面が完全に同色、または同柄、あるいは同組織に統一された1枚仕立てに縫製されていることを特徴とする衣服。

【選択図】 図1

図1



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

表裏異色、または異なる柄に染められた布帛、あるいは表裏異なる組織をもつ布帛を、表裏の全面が完全に同色、または同柄、あるいは同組織に統一された 1 枚仕立てに縫製されていることを特徴とする衣服。

## 【請求項 2】

衣服開口部の生地端を表側に 2 回折り曲げ、折り曲げた端面に沿って裏側に折り返した端部構造を有することを特徴とする請求項 1 に記載の衣服。

## 【請求項 3】

衣服開口部の端部を 1 本の縫目で縫着していることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の衣服。 10

## 【請求項 4】

衣服開口部に、表面と裏面を中央で縫い合わせた細幅の別布を縫い付けたことを特徴とする請求項 1 に記載の衣服。

## 【請求項 5】

布帛に撥水加工が施されていることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の衣服。

## 【請求項 6】

布帛に制電加工が施されていることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれかに記載の衣服。 20

## 【請求項 7】

表裏異色、異なる柄に染められた布帛、あるいは表裏異なる組織をもつ布帛を、表裏の全面が完全に同色、または同柄、あるいは同組織に統一された 1 枚仕立てに縫製されていることを特徴とする和装品。

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本発明は表裏いずれの面を着用しても違和感のない完全リバーシブルの 1 枚仕立ての衣服に関するものである。

## 【背景技術】

## 【0002】

従来の衣服は、1 枚の衣服を表裏の両面着用しようとする場合、表と裏の 2 種類の布帛を準備し、端部をそれぞれ縫い合わせるによりリバーシブルの衣服を得るものであった。また、別の方法では、リバーシブル用の二層構造の布帛を用い、2 層を結合する糸を端面から縫代分量解いて処理し、1 枚仕立てのリバーシブル衣服を得るものであった。いずれの場合も、生地厚さ、衣服の重量が増加するため、気候によっては暑すぎて着用できない時期があった。また、衣服がかさばるため旅行や外出などに携帯し、必要な時に着用することもできなかった。

## 【0003】

一方、リバーシブルを主眼においた衣服の従来技術としては、表裏が異種の意匠からなり、裏返して意匠変更できる組み立て式衣服が提案されているが（例えば、特許文献 1 参照）、この衣服は、身頃、袖、前覆い部が相互に分割および接続が自在となるようにファスナー、ホック等の係止具を有するもので、縫製工程が複雑で着用の際も係止具部分に違和感があったり、係止具で生地や皮膚を傷つける可能性があった。 40

## 【0004】

また、表裏に異なる機能を有する糸を用いた二重層生地の着物が提案されているが（例えば、特許文献 2 参照）、この着物は、裏に吸湿性の高い綿糸、表に染色性や寸法安定性に優れたポリエステル糸を用いた二層構造の布帛を用いているだけで、裏返して着用できるリバーシブル構造とはなっていない。

## 【0005】

一方、表裏２種類の布帛を縫い合わせた両面着用着物が提案され（例えば、特許文献３参照）、また、表裏２種類の布帛の間に別布を挟み込んだリバーシブル着物が提案されている（例えば、特許文献４参照）。しかしながら、どちらも表裏２枚の生地を使用するため、重量や厚さが増し、春夏など気候によっては暑すぎて着用できない時期があった。

【特許文献１】実開昭６０－７８８０７号公報

【特許文献２】特開平１０－３７００８号公報

【特許文献３】実開昭６３－１４３５１１号公報

【特許文献４】実開昭６２－４６６０６号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

10

【０００６】

本発明は、上述した従来技術における問題点の解決を課題として検討した結果、達成されたものである。

【０００７】

従って、本発明の目的は、表裏いずれの面を着用しても違和感のない完全リバーシブルの１枚仕立ての衣服を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【０００８】

上記目的を達成するために本発明は以下の構成を採用する。すなわち、

（１）表裏異色、または異なる柄に染められた布帛、あるいは表裏異なる組織をもつ布帛を、表裏の全面が完全に同色、または同柄、あるいは同組織に統一された１枚仕立てに縫製されていることを特徴とする衣服。

20

【０００９】

（２）衣服開口部の生地端を表側に２回折り曲げ、折り曲げた端面に沿って裏側に折り返した端部構造を有することを特徴とする前記（１）に記載の衣服。

【００１０】

（３）衣服開口部の端部を１本の縫目で縫着していることを特徴とする前記（１）または（２）に記載の衣服。

【００１１】

（４）衣服開口部に、表面と裏面を中央で縫い合わせた細幅の別布を縫い付けたことを特徴とする前記（１）に記載の衣服。

30

【００１２】

（５）布帛に撥水加工が施されていることを特徴とする前記（１）から（４）のいずれかに記載の衣服。

【００１３】

（６）布帛に制電加工が施されていることを特徴とする前記（１）から（５）のいずれかに記載の衣服。

【００１４】

（７）表裏異色、異なる柄に染められた布帛、あるいは表裏異なる組織をもつ布帛を、表裏の全面が完全に同色、または同柄、あるいは同組織に統一された１枚仕立てに縫製されていることを特徴とする和装品。

40

【発明の効果】

【００１５】

本発明によれば、以下に説明するとおり、表裏いずれの面を着用しても違和感のない完全リバーシブルの１枚仕立ての衣服を得ることができるため、経済的にも意匠的にも飛躍的に向上するものであり、特に季節の変わり目などの衣服として利用価値が大きいものである。

【発明を実施するための最良の形態】

【００１６】

以下、本発明の衣服について、一態様を示す図面を参照しつつ詳細に説明する。

50

## 【0017】

図1は、本発明の衣服の一態様を示す正面図、図2、図3、図4は、本発明の衣服の端面の一態様を示す断面図である。

## 【0018】

本発明の衣服は、表裏異色、または異なる柄に染められた布帛、あるいは表裏異なる組織をもつ布帛を、表裏の全面が完全に同色、または同柄、あるいは同組織に統一された1枚仕立てに縫製されていることを特徴とするものである。

## 【0019】

本発明の衣服に使用する布帛は、表と裏が異なった色や柄に染色された、あるいは異なった織物組織をもつものを使用する。表と裏は必ず染色（白色も含む）されており、染色とは1色の無地染でも柄がプリントされていてもいい。また、表と裏の組織が異なってもよい。例えば、表がツイル、裏が平織りにすると表裏が異なるイメージとなるため異色染と同じ効果が得られる。

## 【0020】

本発明の衣服の形態については特に制限はなく、例えば図1に示したように、和装品に適用することもできる。本発明の和装品としては、着物、長襦袢、コートなどの衣料品や、バッグや風呂敷のような小物のものにも適用できる。

## 【0021】

本発明の衣服の端面は図2に示すように、衣服開口部例えば袖口3や裾4の生地端を表側1に2回折り曲げ、折り曲げた端面5に沿って裏側2に折り返し、縫目6で押さえるようにしたものである。この時の縫目6の本数は、折り返し幅Wに応じて適宜設定することができ、図3に示すように1本あるいは図2に示すように2本、もしくはそれ以上であっても良い。中でも作業性の面から、折り返し幅Wを0.5～2cmとし、1本のミシン縫目で止めるのがより好ましい。

## 【0022】

また、表裏の全面を完全に同色、同柄あるいは同組織に統一されるものである。すなわち、表面からみて裏の色柄が見えない、裏に返しても同様に表の色柄が全く見えないようにしたものである。表面と裏面を全く同じ見た目にするためには、図4に示すように、使用する布帛を表面、裏面夫々2～8cm幅の細長いテープ状に裁断し、表面1と裏面2を縫い合わせ別布7とし、生地端部をくるんでもよい。夫々のテープの幅は作業性や仕上がりの審美性の点で3～5cmとするのがより好ましい。この縫い合わせた別布7の長辺端面を図5に示すように、例えば0.5～1cm内側に折り曲げ、衣服本体の生地端面に合わせて縫目6で止める。このとき、衣服本体の表面と別布7の表面を同じ面にし、衣服本体の裏面と別布7の裏面を同じ面にすることにより、表裏の全面を完全に同色に統一することができる。

## 【0023】

端部以外の縫い合わせは、図6に示すように、縫い合わせる部分を1枚は内側に、もう1枚は外側に例えば1cm程度折り、ミシンで縫い合わせる折り伏せ縫いと呼ばれる縫い方とすることにより、縫い代部分も表裏完全に同じにすることができる。

## 【0024】

本発明は、1枚仕立てに縫製されている。1枚仕立てとは1枚の布で仕立てたものである、裏地がないものを1枚仕立てあるいは単衣と呼ぶ。1枚の布の表と裏をそれぞれ異色に染めるには、(1)1枚の布の表と裏を2回プリントする、(2)2種類の素材を使用してそれぞれの染色方法で片方ずつ染色する方法などがある。

## 【0025】

本発明における衣服は、洋装品、和装品のどちらでも良い。衣服の種類としては、コートやジャケットなどの上衣、スカートやパンツなどの下衣いずれにおいても適用できるものである。着用方法としては、例えば午前中にお葬式があり、午後には買い物に出かける、といった外出時に、表面が黒色、裏面が赤色の本発明によるコートを着用すると、午前中は表面を、午後には裏面を表に出して着用することにより、TPOに合った服装ができ

る。また、表裏の色を変えることにより、裏面が少し見えた時でも大変おしゃれに着こなすことができる。

【0026】

また、本発明の衣服に用いる布帛に撥水加工や制電加工を施すことにより、降雨時や乾燥した冬期でも着用快適性に優れる。

【0027】

本発明の撥水处理に用いられる撥水剤としては、シリコン系撥水剤、フッ素系撥水剤等、通常の撥水剤を用いることができるが、耐久性の面からフッ素系撥水剤が好ましく、中でもペルフルオロアルキル基含有アクリル共重合体を含むフッ素系撥水剤が好ましい。

【0028】

本発明の衣服に用いる布帛に施す撥水处理方法については、特に限定されるものではない。布帛の全面に撥水剤を付与する場合は、パディング法、スプレー法、コーティング法などを採用することができ、中でも撥水剤を含む加工液に布帛を含浸させた後、一定の絞り率によってマングルで絞る方法が好ましい。

【0029】

本発明の衣服に用いる布帛に、燐酸エステル塩、第4級アンモニウム塩、ポリエチレングリコールなどを含む制電性を有する化合物、または熱反応型水溶性ウレタンプレポリマーなどを付与することにより、制電性を付与することができる。

【0030】

制電剤を付与する場合は、パディング法、スプレー法、コーティング法などを採用することができ、中でも制電剤を含む加工液に布帛を含浸させた後、一定の絞り率によってマングルで絞る方法が好ましい。

本発明で得られる衣服は、一枚仕立てなので軽くてかさばらないため、例えば梅雨時の外出や、朝夕の気温差の激しい春秋でもかばんに入れて携帯し、必要な時に着用できるので大変重宝する衣服となる。

【実施例】

【0031】

以下、本発明の衣服について実施例および比較例をあげてさらに具体的に説明する。

【0032】

実施例および比較例に用いた衣服の審美性（外観）、可縫性（縫いやすさ）、経済性の評価基準を表1に、また、衣服端部の縫製方法と衣服を評価した結果を表2に示す。

【0033】

実施例1

ポリエステル100%の表裏異色に染めた撥水加工を施したコート地を使い、次の方法で和装用コートに縫製した。

(1) 左右後身頃の背縫い、前身頃と後身頃を縫い合わせる脇縫いは、折り伏せ縫いで縫い合わせる。

(2) 表と裏を前端で接ぎ合わせた衿を左右前身頃に縫い付ける。

(3) 袖口端に裏の色と同じ生地のできた袖口布を縫い付けた左右袖を身頃に縫い付ける。

(4) 表と裏を衿端で接ぎ合わせた衿を身頃に縫い付ける。

(5) 裾を表側に1cm幅で2回折り曲げ、折り曲げ端面に沿って裏側に折り返してミシンで縫い和装用コートに仕上げた。

【0034】

こうして得られた和装用コートの審美性（外観）、可縫性（縫いやすさ）、経済性を評価した結果を表2に示す。

【0035】

実施例2

ポリエステル100%の表裏異色に染めた着物地を使い、次の方法で着物に縫製した。

(1) 左右後身頃の背縫い、前身頃と後身頃を縫い合わせる脇縫いは、折り伏せ縫いで縫

10

20

30

40

50

い合わせる。

(2) 衿を左右前身頃に折り伏せ縫いで縫い付ける。

(3) 袖口端に表面と裏面を接ぎ合わせた3cm幅の別布を縫い付けた左右袖を身頃に縫い付ける。

(4) 表と裏を衿端で接ぎ合わせた衿を身頃に縫い付ける。

(5) 裾に表面と裏面を接ぎ合わせた3cm幅の別布を各々1cm内側に折り、ミシンで縫い着物に仕上げた。

【0036】

こうして得られた着物の審美性(外観)、可縫性(縫いやすさ)、経済性を評価した結果を表2に示す。

10

【0037】

実施例3

ポリエステル65%綿35%の表裏異色に染めた綾織物を使い、次の方法で婦人用コートに縫製した。

(1) 前身頃と後身頃を折り伏せ縫いで肩を縫い合わせる。

(2) 表と裏を前端で接ぎ合わせた衿を左右前身頃に縫い付ける。

(3) 袖口端を表側に2cm幅で2回折り曲げ、折り曲げ端面に沿って裏側に折り返してミシンで縫った袖を身頃に折り伏せ縫いで縫い付ける。

(4) 表と裏を衿端で接ぎ合わせた衿を身頃に縫い付ける。

(5) 袖口から脇を折り伏せ縫いで縫い合わせる。

20

(6) 裾を表側に2cm幅で2回折り曲げ、折り曲げ端面に沿って裏側に折り返してミシンで2本縫い婦人用コートに仕上げた。

【0038】

こうして得られた婦人用コートの審美性(外観)、可縫性(縫いやすさ)、経済性を評価した結果を表2に示す。

【0039】

実施例4

綿100%の表裏異色に染めた平織物を使い、次の方法で婦人用スカートに縫製した。

(1) 左脇にヘッドが表裏に回転するファスナーを縫い付ける。

(2) 右脇を折り伏せ縫いで縫い合わせる。

30

(3) 表面と裏面を中央で接ぎ合わせた8cm幅の別布に芯地を貼り付けたベルト布をスカート上端に縫い付ける。

(4) 裾を表側に0.5cm幅で2回折り曲げ、折り曲げ端面に沿って裏側に折り返してミシンで縫い婦人用スカートに仕上げた。

【0040】

こうして得られたスカートの審美性(外観)、可縫性(縫いやすさ)、経済性を評価した結果を表2に示す。

【0041】

比較例1

ポリエステル100%の表裏異色に染めた着物地を使い、次の方法で着物に縫製した。

40

(1) 左右前後身頃を背縫い、脇線で縫い合わせる。

(2) 左右前身頃に左右衿布を縫いつける。

(3) 左右袖を身頃の袖付け位置に縫い付ける。

(4) 身頃に衿を縫いつける。

(5) 裾、袖口を1cm幅に折り返し、手でくける。

(6) 脇、衿の縫い代を1cm内側に折り、手でまつりつけた。

【0042】

こうして得られた着物の審美性(外観)、可縫性(縫いやすさ)、経済性を評価した結果を表2に示す。

【0043】

50



## 比較例 2

ポリエステル 100% の表裏異色に染めたコート地を使い、次の方法で和装用コートに縫製した。

(1) 左右後身頃の背縫い、前身頃と後身頃を縫い合わせる脇縫いは、折り伏せ縫いで縫い合わせる。

(2) 表と裏を前端で接ぎ合わせた衿を左右前身頃に縫い付ける。

(3) 袖口端に裏の色と同じ生地のできた袖口布を縫い付けた左右袖を身頃に縫い付ける。

(4) 表と裏を衿端で接ぎ合わせた衿を身頃に縫い付ける。

(5) 裾を表側に 5 cm 幅で 2 回折り曲げ、折り曲げ端面に沿って裏側に折り返してミシンで縫い和装用コートに仕上げた。 10

## 【0044】

こうして得られた着物の審美性（外観）、可縫性（縫いやすさ）、経済性を評価した結果を表 2 に併記した。

## 【0045】

## 比較例 3

絹 100% の着物地を 2 枚使い、次の方法でリバーシブル着物に縫製した。

(1) 1 枚の着物地を用い、左右前後身頃を背縫い、脇線で縫い合わせる。

(2) 左右前身頃に左右表衿布を縫いつける。

(3) 左右袖を表身頃に縫い付ける。 20

(4) もう 1 枚の着物も同様に (1) ~ (3) の工程で縫い上げる。

(5) 2 枚の袖口、裾を全て 1 cm の縫い代で縫い合わせる。

(6) 表と裏を衿端で接ぎ合わせた衿を 2 枚の着物を縫い合わせた身頃に縫い付ける。

## 【0046】

こうして得られた着物の審美性（外観）、可縫性（縫いやすさ）、経済性を評価した結果を表 2 に併記した。

## 【0047】

## 【表 1】

表 1.

判定	審美性 (外観)	可縫性 (工程数の増加)	経済性
○	美しく、表裏完全に同色	1 枚仕立て品 + 3 工程以下	1 枚仕立て品と 同等
△	表裏完全に同色ではあるが、 若干違和感有り	1 枚仕立て品 + 6 工程以下	1 枚仕立て品の 1. 5 倍以下
×	裏面に表面の色が出てきて、 違和感有り	1 枚仕立て品 + 7 工程以上	1 枚仕立て品の 1. 6 倍以上

30

## 【0048】

【表 2】

表 2.

	服 種	裾端部の縫製方法	審美性 (外観)	可縫性 (縫いやすさ)	経済性
実施例 1	和装用 コート	表側に 1 cm 幅で 2 回折り曲げ、折り曲げ端面に沿って裏側に折り返してミシンで 1 本縫う	○	○	○
実施例 2	着物	表面と裏面を接ぎ合わせた 3 cm 幅の別布を各々 1 cm 内側に折り、ミシンで縫い付ける	○	△	○
実施例 3	婦人用 コート	表側に 2 cm 幅で 2 回折り曲げ、折り曲げ端面に沿って裏側に折り返してミシンで 2 本縫う	○	○	○
実施例 4	スカート	表側に 0.5 cm 幅で 2 回折り曲げ、折り曲げ端面に沿って裏側に折り返してミシンで縫う	○	○	○
比較例 1	着物	1 cm 幅に折り返し、手でくける	×	○	○
比較例 2	和装用 コート	表側に 5 cm 幅で 2 回折り曲げ、折り曲げ端面に沿って裏側に折り返してミシンで縫う	△	○	○
比較例 3	着物	2 枚の生地を縫い合わせる	○	×	×

【図面の簡単な説明】

【0049】

【図 1】本発明の衣服の一態様を示す正面図である。

【図 2】本発明の衣服の裏面の一態様を示す断面図である。

10

20

30

40

50

【図3】本発明の衣服の端面の他の態様を示す断面図である。

【図4】本発明の衣服の端面に使用する別布の一態様を示す図である。

【図5】本発明の衣服の端面に別布を縫着した断面図である。

【図6】本発明の衣服の縫い合わせの一態様を示す断面図である。

【符号の説明】

【0050】

1：表面

2：裏面

3：衣服開口部（袖口）

4：衣服開口部（裾）

5：端面

6：縫目

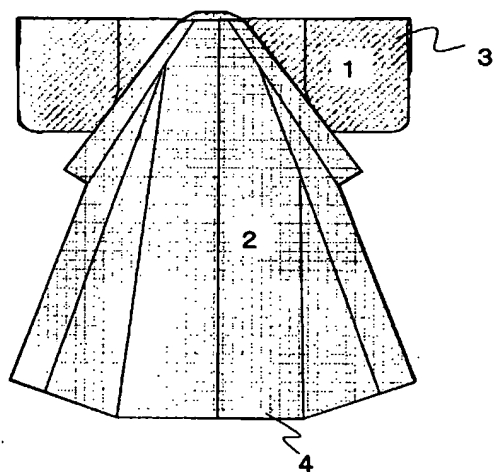
7：別布

W：折り返し幅

10

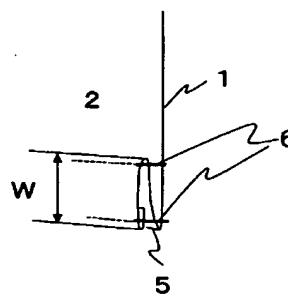
【図1】

図1



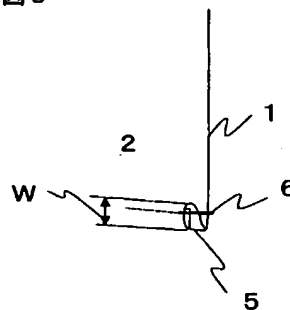
【図2】

図2



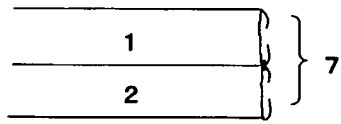
【図3】

図3



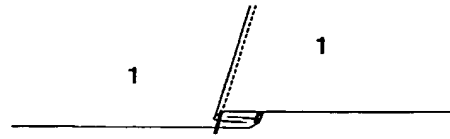
【図 4】

図 4



【図 6】

図 6



【図 5】

図 5

